

なごやの学童保育

市連協ニュース No1

2022 年度・5 月 10 日発行

名古屋市学童保育連絡協議会

TEL (052) - 872 - 1972

FAX (052) - 308 - 3324

E-Mail: info@gakudou-nagoya.org

HP <http://gakudou.kodomo.co/> Facebook <https://www.facebook.com/NagoyaNoGakudouHoiku>

合同運営など施策拡充へ

市連協が総会

名古屋市学童保育連絡協議会(市連協)は4月17日、オンラインで定時総会を開き、2022年度の活動方針や新役員を採択しました。

活動方針では、合同運営(複数の学童保育所による指導員雇用)、土地確保、施設の木造化などの市の施策拡充を求めることを確認。合同運営については、運営や保育の安定につながるなどの特徴を説明する時間もありました。

来年度以降の実現を求める市への要望の案も旧役員会から提案されました。今後、各区の意見も反映し、名古屋市会学童保育議員連盟(議連)と連名で9月までに市に提出、10月の市との懇談会で回答を受けます。力を合わせ実現しましょう。

【要望案の概要】

- 以下を国へ働きかけてください
 - ①運営費基本額の増額
 - ②指導員の勤務の基本時間を1日8時間に
 - ③補助の算定基準を登録児童数に
 - ④複数の学童保育所による土曜日の合同保育は、それぞれの学童保育所を補助対象に
 - ⑤指導員の処遇を改善する補助金の拡充
 - ⑥土地代への補助新設
- 障がい児への施策
 - ①職員の専門性を高める研修等の支援充実
 - ②年度初めに決定した関連助成金は、対象児童退所後も通年支給を
- 指導員が必要時にPCR検査が受けられるように
- 努力目標の「3食分食糧備蓄」の方策検討を
- ひとり親家庭助成金の所得制限撤廃を
- 補助金を立て替えなしの事前支給・年度末清算に
- 巡回アドバイザー配置を
- 保育の質向上のため国の助成制度を使い第三者評価を行えるように

子どもたちのために

池田徹弘会長あいさつ

昨年度に続き、市連協の会長を務めさせていただきます。

1年間、よろしくお願ひいたします。

各学童保育所にはいろいろな問題や悩みがあると思います。市連協は、これ



を吸い上げ、名古屋市の学童保育施策がよりよくなるよう行政や議会に働きかけをしていきます。施策の動向を分かりやすく伝え、重要テーマの学習会も開きます。各関連団体との連携にも取り組みます。

学童保育所の一般の保護者や指導員には、市連協を遠い存在と感じる方もいると思います。でも私たち役員も、特別な存在ではありません。みなさんと同様、普段は自分の仕事をしながら、活動をしています。役員だけでできることはごくわずかです。学童保育をよりよくなる活動には、みなさんの理解と参加が欠かせません。

行政や議会に要望をするだけでなく、私たち自身も変化することも含め今後の名古屋市の学童保育のあるべき姿を考えることも必要です。子どもたちのために共にならば頑張りましょう。